

住宅

住宅の建て方別の世帯数

(単位:世帯)

	鶴見区	横浜市
一戸建	40,552	586,377
長屋建	1,439	27,122
共同住宅	77,245	926,880
その他	374	3,142
合計	119,610	1,543,521

住宅の建て方をみると、共同住宅が最も多く77,245世帯(住宅に住む一般世帯数に占める割合64.6%)と2世帯に1世帯以上が共同住宅に住んでいることとなります。次いで一戸建てが40,552世帯(33.9%)となっています。

共同住宅に住む世帯の割合は、横浜市全体の60.0%(926,880世帯)と比べ4.6ポイント上回っています。

資料:平成22年国勢調査



持ち家に住む一般世帯は
56.5%だよ!



コラム

鶴見区の用途別水道使用量

平成23年度の鶴見区の水道使用量は、約4,859万m³でした。そのうち、公衆浴場用が約30万m³で、横浜市全体の公衆浴場用水道使用量(約95万m³)の約3割以上を占めています。

ちなみに、鶴見区の平成23年末の公衆浴場数は38です。近年は減少傾向が続いていますが、18区中、中区に次いで2番目の多さとなっています。

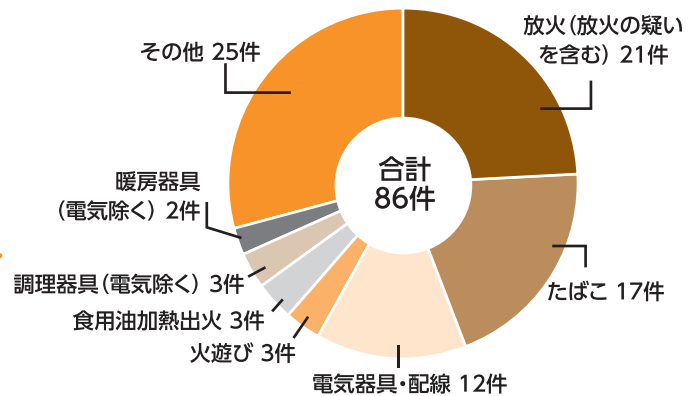
資料:水道局・横浜市統計書

消防

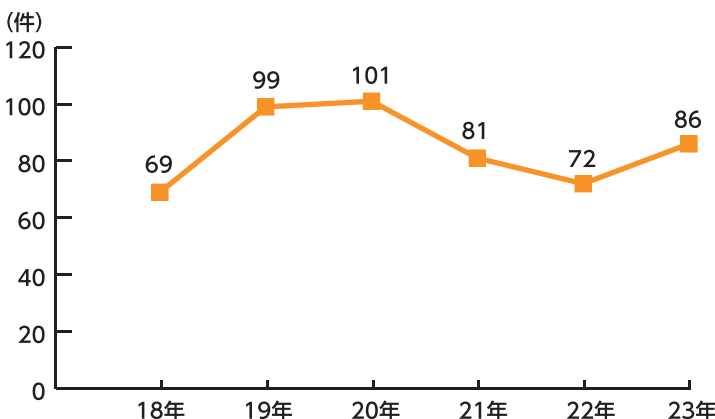
平成23年の火災発生件数は、86件で、前年に比べると14件増加しています。これらの火災の原因としては、「放火(放火の疑いを含む)」が21件で一番多く、次いで「たばこ」が17件、電気器具・配線が12件となっています。

また、平成23年の救急車の出動件数は、12,776件であり、出動理由としては、急病が8,340件と一番多く、全体の6割以上を占めています。

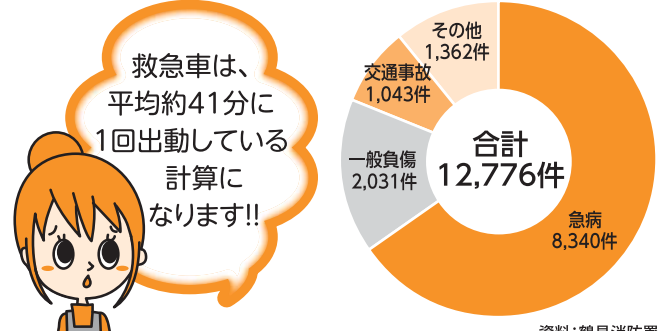
火災原因別件数



火災発生件数の推移



救急車出動理由



救急車は、
平均約41分に
1回出動している
計算に
なります!!

資料:鶴見消防署